

まにわの子



真庭市キャラクター
まにぞう・まにぞうファミリー

令和8年4月3日第3号

真庭市教育委員会学校教育課

真庭市が目指す共生社会の姿と「今紡ぐもの」



「つながって」「活動する楽しさ」

「支えあって生きる」豊かさ

ありのままに認めらる「安心」

「個性や能力が輝くインクルーシブ教育」という考えに基づき、個人の属性によって分けるのではなく、様々な個性をもつ個人が、一緒に学び育つ教育を進める。また、学校を様々な人が集い、対話する場とする中で、多様だからよりよく成長できる環境づくりを進める。

※授業のユニバーサルデザイン
※個に応じた支援
※共通理解・共通指導

真庭市が目指す共生社会
市民の幸福追求・自己決定の権利が互いに保障され、市民一人ひとりが、**お互いを尊重し合い、支え合い、多様性を認め、自らが望む形で社会との関わりを持ち、生涯にわたって安心して自分らしく暮らすことのできる社会**を目指します。

※真庭市共生社会推進基本方針より (R3年4月策定)

真庭の教育グランドデザイン
【真庭市総合教育大綱】
～個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」～

令和8年度

学校運営協議会 | 地域学校協働本部

地域と共に学ぶ | 立場を超えて育て合う

郷育 | 学びが真庭で響き合う | 協育

楽しむ | 共育 | 響育 | 深化

今年はこちら

学習する教員 | 学習する学校

個性や能力が輝くインクルーシブ教育の推進
だれ一人取り残さない共生社会の実現を目指す

①授業のユニバーサルデザイン
②個に応じた支援
③共通理解・共通指導

郷育を核としたキャリア教育の推進
自分らしい生き方を実現する力の育成

①郷育（ふるさと学習）の充実
②探究型学習の充実
③連携（地域・園小中）の充実

「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」
-まなぼう にこにこ わになって のびのび育つ まにわの子-

真庭市教育委員会学校教育課

目指すのは、「自分で学ぶ」「自分で考える」こどもの育成です。こどもは「未来の資源」ではなく、「今この瞬間を生きる市民」である。自分の考えを自由に表明できる、そんな姿を目指したいと考えています。

その土台として、地域と共に学ぶ「郷育」協力して育て合う「協育」共鳴しながら育ち合う「響育」の3つの視点を大切に、こどもと大人がともに育ち合う「共育」の姿を目指します。「こどもたちはさまざまな人たちに支えられている」、それがイメージしやすいようイラスト化してみました。

学校が小規模化していく真庭の強みは、「みんなで学べる」ことです。特に今年度は、「誰にとっても」学びやすい授業づくりの推進を通して、真庭の目指すインクルーシブ教育の在り方を示していきます。